子と特派員のが街を行くり

広報紙では今後、市民の皆さんが参加した広報紙の編集・発行を目指し、市民協働のまちづくりを推進していきます。

今回、市内小学校の子どもたちが、自分の住んでいる街や校内活動などを、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」となります。第1回目は、谷井田小学校5年生の根岸李行さん(下段左)、國井翼さん(下段中央)、原口杏奈さん(下段右)、髙森江梨花さん(上段左)、金子月菜さん(上段中央)、甲斐涼音さん(上段右)が、谷井田コミュニティセンターを訪ねました。

※紙面の文章および掲載の写真は「子ども特派員」によるものです。



仲間と笑顔

ゲートボールを教えてくれた井上美恵子さんに お話を聞くよ「茶城県代表で活躍している。」と

お話を聞くと「茨城県代表で活躍していらっしゃる方々もいる」と。もうすぐ大会があるそうです。 がんばってください。

谷井田小のすぐぞばにあるふれあい公園は、放課後になるとみんなが集まる楽しい遊び場。誰もが一緒に遊べる人気の公園です。公園の中にある谷井田コミュニティセンターはその名のとおり、みんながふれあえる素敵なところです。わたしたち子ども特派員6人は、

コミセンに着くと、ぽかぽか陽気のお日様の下で、 ゲートボールを楽しんでいる姿が。「ん、小学生も3、 4人混じってる?」谷井田小の6年生が毎週土曜日の 午前中いつも一緒に活動しているそうです。さっそく 私たちもチャレンジ。

仲間と笑顔を求めてコミセンに出かけました。

次に、建物の中に入るとかすかに音楽が聞こえてきます。ドアを開けてみるとウクレレサークルの皆さんが笑顔で迎えてくれました。皆さんといっしょに「春が来た」を歌いました。最後にフラダンスをちょっぴり教わり、みんなが笑顔に。

最後に覗いた奥の和室では、手話サークル「イーズ」の皆さんが勉強会をしている様子。もちるんことでも手話を教えていただきました。細かいところまできちんと教えて《れて、上手にできるとうんとほめて《れたので、わたしたちもうれし《なり、すぐ自分の名前やあいさつを覚えることができました。